

Minami Kyushu University Syllabus

[illegible]

授業計画 【第11回】	言語障害・情緒障害 言語障害と情緒障害についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業計画 【第12回】	肢体不自由・病弱 肢体不自由と病弱についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業計画 【第13回】	重度・重複障害 重度・重複障害についての基本的な理解と指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業計画 【第14回】	通常の学級における特別支援教育 困難さのある子どもに対する特別な指導・支援の在り方について学ぶ。 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業計画 【第15回】	特別支援教育の現状と課題 特別支援教育の現状について再確認し、今後の特別支援教育に在り方について学ぶ 指定した資料等を読み、講義内容について予習をする（30分程度） 授業終了時に示す課題に取り組む（30分程度）
授業の到達目標	1. ICFに基づいて障害の捉え方を説明することができる。 2. 発達障害を始め様々な障害について理解し、支援の在り方について考えることができる。 3. 支援の必要な子どもの困難さを軽減させる方策について考えることができる。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを求めため、各自で授業内容について確認や予習しておく。（30分程度）
授業時間外学習【復習】	受講後はレポートや小テストを実施するので、学習内容を確認、復習しておく。（30分～1時間程度）
課題に対する フィードバック	小テスト等については授業の中で解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 授業に臨む態度（ペア、グループワーク参加への積極性）と小テスト等の内容（20%） 2) 定期テスト（80%）
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリント等を配布する。
参考書	特別支援学校学習指導要領解説総則編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）文部科学省（2017） 特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚園・小学部・中学部）文部科学省（2017） 障害のある子どもの教育支援の手引き 文部科学省（2022）
備考	15年間、特別支援学校（知的障害、肢体不自由、病弱）、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会学校教育課において特別支援教育担当指導主事として勤務した。